

【事例 H25-01-34】長野県長野保健福祉事務所・管内市町村

ゲートキーパー養成研修事業
＝管内全市町村が実施するための支援＝

長野県では、精神保健センターがゲートキーパー養成研修会に際して使用する「ゲートキーパーのためのテキスト」を作成し、すべての保健福祉事務所で独自にゲートキーパー養成研修を開催できるよう研修会を開催した。それを受けて、長野保健福祉事務所では、管内全市町村に対して養成研修を実施するよう働きかけ、協働した取り組みを実施した。

【実施主体】長野県長野保健福祉事務所・管内市町村

【大綱の分類】うつ病など健康問題への対応

【事業予算】10千円

【利点】

・市町村研修会の組み立ての段階から保健福祉事務所が関わり、内容を地域の実情に合わせて検討することにより、市町村が主体的に取り組む姿勢を高めることができる。

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】

・長野保健福祉事務所管内の自殺者数については、平成21年が58人、22年が51人、23年で38人と近年、減少している。(人口動態統計)

・長野保健福祉事務所管内全ての市町村がゲートキーパー養成研修を実施し、地域に「ゲートキーパー」の役割を担う人材を増やすこと、養成したゲートキーパーを市町村保健師等が支援する体制を作ることを目的とした。

【計画を立てる上での工夫・等】

・市町村の負担感を大きくしないよう、既存の研修会や定例会等通常業務の中に自殺対策、ゲートキーパーの普及の視点を取り入れる形式でも良いことを提案した。

・講義だけでなく、演習も対象ごとに工夫して取り入れることで、参加者の意識やスキルを高めることにつながった。

・ゲートキーパーが安心して活動できるように、養成した保健師は、ゲートキーパーの日常的なバックアップ、ゲートキーパーの気付きをつなげる受け手となり支援を途絶えさせないこと、地域の課題として自殺対策計画や施策に反映していくことが求められる事を実施市町村へ伝えた。

【具体的な内容・実施の過程】

- ・管内市町村がゲートキーパー養成研修を実施するにあたって企画・運営について支援した。
- ・平成 23 年度は市町村と保健福祉事務所が協働で実施したが、平成 24 年度は市町村が主体的に取り組めるよう支援した。
- ・講師については、受講対象者に合わせ選定し、必要に応じて保健福祉事務所の保健師が講義を実施した。
- ・テキストの作成、養成研修の開催のための研修会は精神保健福祉センターが担い、それを受けて長野保健福祉事務所が管内市町村へ広め、各市町村が地域の実情に合わせてそれぞれの対象者にゲートキーパー養成研修を実施した。

【成 果】

- ▼ 管内全市町村がそれぞれの地域の実情に合わせてゲートキーパー養成研修を実施することが出来た。
- ▼ 自殺者が数名の自治体もあり、まずは、市町村の保健師の意識を高めることから始めた。その際も、市町村にすべて任せるのではなく、研修会の組み立ての段階から積極的に保健福祉事務所が関わり、内容を地域の実情に合わせて検討することにより、市町村が主体的に取り組む姿勢が高まった。

【補 足】

- ・平成 25 年度以降も全市町村が主体的にゲートキーパー養成研修を実施できるよう働きかけを行っていく予定である。

【課 題】

- ・今後は市町村独自で研修会を継続実施していくことを目指している。

【事業種別】 人材養成事業

【準備期間・人数】 不明

【予防段階】 1 次

【自治体規模】 188,659 人（管内 2 市 4 町 2 村）

【自治体負担率】 なし（地域自殺対策緊急強化基金を使用しているため）

【事業対象】 管内全市町村の保健師

【支援対象】 管内全市町村の保健師

【実施主体・問合せ先】 長野県健康福祉部保健・疾病対策課心の健康支援係

TEL:026-235-7109

E-mail : kokoronokenko@pref.nagano.lg.jp

URL : <http://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kensei/soshiki/soshiki/kencho/hoken-shippei/index.html>

【参考資料・文献】

- ・ゲートキーパーのためのテキスト（第3版）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/seishin/heisetsu/jisatsuyobo/documents/gatekeeper31.pdf>

【作成日】 2017/5/15